

令和4年度 事業報告

新型コロナウイルス感染症の終息の兆しが見られない中、熊野市シルバー人材センターの事業運営につきましては、会員並びに職員に感染拡大することもなく、順調に事業を推進することができました。

「自主・自立、共働・共助」の理念の基、会員自らが「生涯現役」として地域社会の活力を支える担い手となり元気に活動し、地域社会に貢献するセンター運営を目指して、会員と役職員が一丸となってこの1年間活動を進めてまいりました。

組織運営では、定時総会については、新型コロナの感染拡大防止を考慮し、できるだけ人数を制限した中で開催し、理事会については、ほぼ計画どおりに開催することができました。

会員の拡大については、定年延長、再雇用制度などの拡充により新しい会員を増やすことが難しい状況になってきている中、「一会員一人加入運動」の推進やシルバーだより、チラシ等の広報媒体等を通じて取り組みましたが、会員の拡大にはつながらず現状維持にとどまりました。

就業機会の提供及び開拓については、6月から10月にかけての繁忙期に草刈り、剪定作業等に従事する会員の不足等により個人、民間事業所、官公庁等からのすべての受注に対応することができませんでした。その結果、受注件数が減少し、契約金額も減額となりました。また、個人、民間事業所等からの請負業務が大半を占める中、新規の労働者派遣業務の受注もなく、就業の拡大につなげることができませんでした。

安全・適正就業については、「安全はすべてに優先する」ことを基本に据え、会員の就業時及び就業途上の事故防止や熱中症予防、新型コロナウイルスの感染予防など健康意識の高揚と周知徹底に取り組んでまいりましたが、残念ながら就業中1件、就業途上1件の傷害事故及び5件の賠償事故が発生しました。

適正就業では、国の適正就業ガイドラインを遵守するとともに、「適正就業基準に関する要綱」に基づき会員に対し安全で公平な就業の機会の提供に努めました。

センターの財務運営では限られた財源の中で、事務の効率化と経費の節減等を徹底し、健全なセンター運営に努めました。

令和4年度に実施した主な事業と概要は、次のとおりです。

1 組織体制の強化

(1) 理事会の開催

センター事業運営の中核である理事会（理事7名、監事2名）を開催し、情報の収集や現状把握の上に立った方針の決定や計画立案等の討議を重ね、業務遂行に努めました。

	開催日	協議内容
第1回理事会	5月10日	① 令和3年度事業報告の承認について ② 令和3年度収支決算の承認について 監査報告 ③ 第2次中期基本計画（案）の承認について ④ 令和4年度定時総会の招集（案）の承認について
第2回理事会	5月28日	① 常務理事の選定について
第3回理事会	9月7日	① 報告事項 ② 職員給与規程の改正（案）について ③ 令和4年度第1次収支補正予算（案）について ④ 利用料金の見直しについて
第4回理事会	3月24日	① 報告事項 ② 令和4年度第2次収支補正予算（案）について ③ 令和5年度事業計画（案）について ④ 令和5年度収支予算（案）について ⑤ 役員賠償責任保険の加入について ⑥ 墓守に係る利用料金の改定について

(2) 定時総会の開催

定時総会は、一人でも多くの会員に参加していただき、センター事業運営について情報共有し、会員の意思が反映できる唯一の機会であったが、新型コロナの感染拡大防止を考慮し、できるだけ人数を制限した中で開催しました。

開催日	場 所	内 容
5月28日	熊野市林業会館	議 事 ① 令和3年度事業報告の承認について ② 令和3年度収支決算報告の承認について 監査報告 ③ 役員報酬等及び費用に関する規程の改正 (案)について ④ 理事の選任について 報告事項 ① 令和3年度収支補正予算について ② 令和4年度事業計画について ③ 令和4年度収支予算について ④ 第2次中期基本計画について

(3) 諸会議・研修会等

諸会議、研修会等については、定時総会、派遣元責任者講習以外はパソコンを使用したリモートシステム（Zoom）により参加をしました。

月 日	内 容	備 考
4月15日	4月度安全衛生委員会（Zoom会議）	熊野市 SC 事務所
5月12日	第1回事務局長会議（Zoom会議）	熊野市 SC 事務所
5月18日	派遣元責任者講習会	事務局長 名古屋国際会議場
5月20日	5月度安全衛生委員会（Zoom会議）	熊野市 SC 事務所
6月15日	県シ連令和4年度定時総会	津市 2名参加 県総合文化センター
7月 8日	インボイス制度対応勉強会（Zoom会議）	熊野市 SC 事務所
7月14日	令和4年度 三重県安全就業推進大会 （Zoom会議）	熊野市 SC 事務所
7月15日	7月度安全衛生委員会（Zoom会議）	熊野市 SC 事務所

8月19日	8月度安全衛生委員会 (Zoom 会議)	熊野市 SC 事務所
8月30日	インボイス制度意見交換会 (Zoom 会議)	熊野市 SC 事務所
10月7日	令和4年度安全・適正就業パトロール (紀北町)	紀北町 SC 事務所
10月17日	令和4年度適正就業担当者会議 (動画配信)	熊野市 SC 事務所
10月21日	10月度安全衛生委員会 (Zoom 会議)	熊野市 SC 事務所
10月21日	会報「シルバーみえ」第40号編集会議 (Zoom 会議)	熊野市 SC 事務所
11月1日	第2回事務局長会議 (Zoom 会議)	熊野市 SC 事務所
11月17日	令和4年度東海シルバー人材センター連絡協議会役職員研修会 (Zoom 会議)	熊野市 SC 事務所
11月18日	11月度安全衛生委員会 (Zoom 会議)	熊野市 SC 事務所
11月29日	令和4年度理事長研修会 (Zoom 会議)	熊野市 SC 事務所
1月20日	1月度安全衛生委員会 (Zoom 会議)	熊野市 SC 事務所
2月7日	臨時事務局長会議 (Zoom 会議)	熊野市 SC 事務所
2月17日	2月度安全衛生委員会 (Zoom 会議)	熊野市 SC 事務所
3月9日	第3回事務局長会議 (Zoom 会議)	熊野市 SC 事務所
3月17日	3月度安全衛生委員会 (Zoom 会議)	熊野市 SC 事務所

2 会員の拡大

- (1) 熊野市の総人口 (令和5年3月31日現在) は、15,437人 (男性 7,076人、女性8,361人) で、その内、60歳以上の人口は、8,035人 (男性3,397人、女性4,638人)、人口に占める割合は約52.05%となっていますが、会員数の割合はわずか約1.33%の状況です。
- (2) 会員数 (令和5年3月末現在) は107名で、年度内に加入した会員は11名、退会及び資格喪失による会員は11名で増減に変動はありませんでした。

入会した11名の会員の理由につきましては、生きがい・仲間づくり1名、経済的理由5名、健康維持・増進4名、その他1名でした。

また、退会及び資格喪失会員11名の理由につきましては、死亡1名、病気等の健康上の理由1名、その他で就業3名、加齢2名、転居1名、その他3名でした。

(3) 会員構成では、70歳以上74歳未満は36.4%で最も多く、続いて75歳以上79歳未満は29.9%、65歳以上69歳未満は14.0%の順となっています。特に、70歳以上の会員は全体で75.7%を占めており、会員の高齢化が進んでいます。

(4) 会員の平均年齢では男性72.7歳、女性73.4歳、全体で73.1歳となっています。これは前年度と比較して男性では0.4ポイント上昇し、女性では0.4ポイント下降、全体では変わりありません。

最高年齢の会員は男性で87歳、女性85歳でした。

(5) 入会相談を事務所において随時行ってまいりました。会員の募集広告のチラシなどを活用したことにより電話による問い合わせなどがあり、新規の入会につなげることができました。

<会員数>

性別 \ 期間	年度当初	動 向		4年度末日	増 減
		入会	退会		
男	77	8	7	78	1
女	30	3	4	29	△1
計	107	11	11	107	0

<会員構成>

性別 \ 区分	60 ～ 64歳	65 ～ 69歳	70 ～ 74歳	75 ～ 79歳	80歳 以上	計	比率 (%)
男	7	12	31	22	6	78	73.0
女	4	3	8	10	4	29	27.0
計	11	15	39	32	10	107	100.0
比率 (%)	10.3	14.0	36.4	29.9	9.4	100.0	—

3 就業機会の開拓と提供

(1) 令和4年度の全体の契約件数は、951件で前年度より23件少なく、受注契約金額も民間（個人、事業所）等からの受注が僅かに減ったことにより昨年度と比較して305,982円減少しました。主な要因は、草刈り、草抜き、剪定等の作業を請け負う会員が不足していたことにより契約件数が伸びなかったことによるものです。

派遣業務については、企業等が少ない当地区は他市町と比べると派遣契約金額は全体の約3.8%と非常に低い結果となっており、当地域の特色を表しています。

(2) 就業機会の提供の指標となる就業率は81.3%で、前年度より5.6ポイント下回りました。未就業会員に対し電話等で仕事の照会も行いましたが、結果的に就業につながらないといったケースもありました。

○令和4年度契約件数、契約金額等

区分 月	契約 件数	就業人数		契約金額 (単位:円)			
		実人員 (累計)	延人員	公 共	民 間	派 遣 (民 間)	合 計
4	48	57	387	657,858	915,955	111,367	1,685,180
5	70	66	457	655,750	1,589,983	111,367	2,357,100
6	126	75	623	979,676	2,140,932	131,020	3,251,628
7	125	77	635	1,019,756	2,350,267	78,612	3,448,635
8	96	80	577	1,000,735	2,138,589	0	3,139,324
9	87	82	651	1,395,423	1,910,847	124,469	3,430,739
10	118	83	625	905,940	2,327,676	128,334	3,361,950
11	102	84	607	840,458	2,345,391	121,581	3,307,430
12	99	85	538	796,519	2,028,378	101,317	2,926,214
1	37	85	387	1,025,341	1,245,663	101,316	2,372,320
2	21	85	370	514,442	1,065,652	128,334	1,708,428
3	22	87	421	891,565	1,059,728	101,317	2,052,610
合計	951 (974)	—	6,278 (6,525)	10,683,463 (10,660,054)	21,119,061 (21,487,101)	1,239,034 (1,200,385)	33,041,558 (33,347,540)
差	△23	—	△247	23,409	△368,040	38,649	△305,982

(注) ① 表中()内は前年度実績

② 公共：民間：派遣＝32.3：63.9：3.8 (%)

4 安全・適正就業の推進と徹底

(1) 安全就業については事故ゼロを目指して会員の安全意識を高めさせていただくためにシルバーだより、チラシ等により周知を行い、センターが受注した請負業務については会員一人一人が安全に就業していただけるように心掛けて取り組んでまいりました。

(2) 作業中による事故の発生件数については、重篤事故の発生はありませんでしたが、剪定作業中の傷害事故1件、就業後帰宅途中の交通事故1件、草刈り作業中等の賠償事故5件が発生しました。事故を未然に防ぐことのできたケースもあり、会員への一層の周知徹底が必要です。

○傷害及び賠償事故発生状況

年度	傷害事故	賠償事故	合計
平成24年度	2	0	2
25年度	2	6	8

26年度	4	4	8
27年度	1	2	3
28年度	3	2	5
29年度	3	1	4
30年度	2	2	4
令和 元年度	2	0	2
2年度	1	1	2
3年度	4	0	4
4年度	2	5	7

- (3) 安全・適正就業委員会を開催し、事故発生状況を説明しながら防止策等について議論を行いました。
- (4) 適正就業については、「適正就業基準に関する要綱」に基づき、一人の会員に仕事が偏らないようにワークシェアリングを推進して、会員の希望に応じてできるだけ平等に仕事を振り分けるよう取り組みました。

5 普及啓発活動

(1) シルバー人材センター事業普及・啓発活動

ボランティア活動については、シルバー事業の社会的意義を高めるとともに、会員相互の交流、シルバー人材センター事業の普及・啓発活動として設定された、「三重県シルバーの日」の奉仕活動と、「福祉の受け手から社会の担い手」を合言葉に展開している「福祉・家事援助サービス月間」に伴う奉仕活動は、新型コロナウイルス感染拡大の終息の兆しがいまだ見通せない状況にあることから中止としましたが、現在は感染者数も減少傾向にあることから、次年度の活動を期待しているところであります。

市内全域への啓発活動として「広報くまの」への記事の掲載やポスターの掲示等の普及啓発活動を行いました。

(2) 「熊野シルバー」(シルバーだより) の発行

会員の皆様に読み親しまれる広報紙となるよう、年2回(7月・1月)発行しました。引き続き、より充実した内容の「熊野シルバー」の発行を目指してまいります。

6 会員の福利厚生

社会参加の輪を広げ、健康と生きがいを基調に会員相互の親睦と連帯意識の高揚、福祉の増進を図ることを目的に組織されている会員互助会の活動に支援を行っていますが、新型コロナウイルス感染拡大の終息の兆しが見通せないなか十分な互助会活動ができませんでした。年々互助会員が減少してきており、新たな会員の加入に向けての取り組みが課題です。